

檄 文

各位におかれましては、先日の衆院選選対会議に、本当に大勢の方にお集まりいただき、感謝申し上げます。

本日、党本部より別添の急告文書が届きました。

その趣旨は、マスコミ各社の序盤情勢報道に一喜一憂することなく、「自由」と「民主主義」に基づく政権の継続を強く有権者に訴えること。

そして、「やるべきことは必ずやる」の気概をもって、期日前投票の呼びかけをはじめ、残りの選挙戦を全身全霊で戦い抜くことの二つに集約できると思います。

言い尽くされておりますが、投票箱の蓋が閉まるまで勝敗は決しないとの固い信念をもって、最後の最後まで勝利に向かって頑張りましょう。

令和3年10月21日

選対本部長 前 川 收

2021/10/21 11:02 0335020893

FAX>FAX 01P/END

熊本県支部連合会 御中

2021年10月21日 (月) 11時02分

大上町十番 選挙区 選挙区 選挙区
日田氏上元 選挙区 選挙区

NO. 9020 P. 1/1

急 告

情 勢 緊 迫

一票一票の獲得に全力を！！

各候補者陣営におかれましては、連日連夜、ご奮闘のことと存じます。

本日、マスコミ各社が一斉に序盤情勢に関する報道をしています。総合しますと、全国各地で多くのわが党候補者が当落を争う極めて緊迫した状況にあると認識しております。

今般の選挙は多数の選挙区で与野党一騎打ちの構図にあり、かつ、コロナ下にあって、組織力が十分に発揮できない状況に至っているのは憂慮に堪えません。

しかしながら、与野党一騎打ちの構図によって、かえってこの選挙が「(自公の)自由民主主義政権」か「共産主義(が参加する)政権」かの体制選択選挙であることが有権者の目に鮮明となっています。我々は我が国の将来のために自信を持って自由と民主主義に基づく政権の継続を訴えていかなければなりません。

また、選挙期間中には予測不能な事態が生ずるものであり、比較的優位な戦いを進めていた選挙区にあっても瞬く間に形勢が逆転し、議席を失う事例もこれまで数多くありました。

さらに、コロナ下で行われる初めての大型国政選挙であり、これまで多くの地方選挙で期日前投票利用が大幅に増加するなど、有権者の投票行動も変化しております。

「やるべきことは必ずやる」。情勢報道に一喜一憂することなく、昨日から始まった期日前投票の呼びかけをはじめ、選挙にかかる全て運動に全身全霊で取り組み、一分一秒を疎かにせず、残りの選挙戦を戦い抜かれますようお願い申し上げます。

勝利に向けて、各位のご健闘を心から祈念します。

令和3年10月21日

幹 事 長 甘 利 明
選挙対策委員長 遠 藤 利 明